

札幌リハビリテーション専門学校

## 学校関係者評価報告書

(令和3年)

学校法人西野学園

札幌リハビリテーション専門学校

### 学校関係者評価について（報告）

本校におきましては、「職業実践専門課程」の充実を目指し、平成24年度から、教職員による「自己評価」を実施し、平成26年度から、「自己評価」結果を踏まえた「学校関係者評価」を実施しています。

「職業実践専門課程」としての充実を図る「学校関係者評価」の実施にあたっては、本校の卒業生や関係企業等の方々からなる学校関係者評価委員会を組織し、会議を開催し、本校の「自己評価」結果をもとに、多様な観点から、多くの貴重なご意見・ご要望をいただいております。

本校といたしましては、学校関係者評価委員会で評価して頂いた結果に対して、速やかに改善策を構築し、広く社会のニーズに適した学校運営や教育課程の編成を組織的・継続的に取り組んでいく所存でありますとともに、その概要について本学園のホームページ上に公開し、今後ともより良い学校運営、教育活動を目指し、学校関係者の方々との連携・協力をはかり、教職員一同尽力してまいりたいと考えておりますので、今後とも皆さまのご支援ご協力をよろしくお願い申し上げます。

「令和2年度学校関係者評価」につきまして、以下の通り報告いたします。

#### 記

#### 1 学校関係者評価委員 名簿

氏名	所属
梶山 優洋	元北海道千歳高等学校校長
杉原 俊一	医療法人秀友会 札幌秀友会病院 公益社団法人 北海道理学療法士会 常任理事
吉岡 英章	医療法人社団憲仁会 牧田病院 公益社団法人 北海道作業療法士会 副会長
佐藤 喜亮	社会医療法人社団三草会 クラーク病院
高松 尚徳	医療法人清仁会 北海道内科リウマチ科病院

#### 2 学校関係者評価委員会開催日時

第1回 令和3年6月24日（木） 15:00～16:30

第2回 令和3年9月30日（木） 15:00～16:30

（第3回は令和4年2月24日（木）を予定）

#### 3 今年度の学校関係者評価実施の流れ

令和3年4月 令和2年度の教育活動等に関する「自己評価」を実施

“ 6月 令和3年度第1回学校関係者評価委員会を開催し、「自己評価」に基づく「学校関係者評価」を実施

“ 9月 令和3年度第2回学校関係者評価委員会を開催し、「学校関係者評価」の内容を確定

“ 10月 「令和2年度学校関係者評価」をHPに公開

令和2年度 自己点検評価項目		平成30年度 自己評価 (平均)	令和元年度 自己評価 (平均)	令和2年度 自己評価 (平均)	学校関係者評価委員会による評価
I 教育理念・目標	1 理念・目標・育成人材像は定められているか。	4.3	4.7	5.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つのポリシーの公開により教育理念・目標が周知され、出願者増に繋がっている。</li> <li>・さまざまな委員会の活動によって、質の高い授業が提供でき、成果を上げることが期待される。</li> <li>・本校独自の特色（高度専門士、4年制等）の周知を工夫されたい。</li> </ul>
	2 社会のニーズ等を踏まえた学園の将来構想を抱いているか。	3.8	4.5	4.6	
	3 理念・目標・育成人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか。	3.9	4.3	4.6	
II 学校運営	4 目標等に沿った運営方針が策定されているか。	3.8	4.5	4.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校運営方針が明確に示され、業務の効率化や協働体制構築が適切に進められている。</li> <li>・デスクネットの運用を通じて情報共有が進められており、情報システムの活用・工夫による効率化は評価できる。</li> <li>・競合校との差別化を図るため、本校の高度な専門性と教育内容は、学士と同等の資格を得られ、私立大学と同等であることをもっと周知する必要がある。</li> </ul>
	5 運営組織は明確にされ、有効に機能しているか。	3.5	4.0	4.8	
	6 情報システム等による業務の効率化が図られているか。	3.0	3.8	4.5	
	7 学校内総合力を高めるための連携と協働体制の確立が図られている	3.5	4.0	4.4	
III 教育活動	9 教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	4.2	4.5	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国試合格率が両科共に全国平均を下回っている事実を重く受け止めるべきである。合格率は入学者数と密接に比例するものであり、今後より一層国試対策を強化する必要がある。</li> <li>・コロナ禍による学校行事の縮小・中止は致し方ないことである。ただ、フィジカル・ディスタンスは止むを得ないが、人間関係のソーシャル・ディスタンスにならぬよう、学生間の繋がりを教職員がサポートし、シェア学習等の充実に努められたい。</li> <li>・関連施設・業界団体等との連携を一層強め、教育課程に反映させることが必要である。</li> <li>・本校の授業の特色でもあるICT活用の授業形態の研究をさらに進められたい。</li> <li>・研修は新N'sシート委員会等により計画的に行われており、今後とも積極的に取り組んでほしい。</li> </ul>
	10 学校行事の適切な企画、円滑な運営がなされているか。	4.3	4.7	4.2	
	11 授業規律を確保し、統一した指導体制のもとで教育活動が行われて	3.8	4.4	4.5	
	12 関連分野の企業、関連施設等、業界団体等との連携により、教育課程の編成や点検等が行われているか。	4.2	4.5	4.4	
	13 成績評価、単位認定の基準は明確になっているか。	3.8	4.5	4.8	
	14 授業評価の実施等、評価体制があるか。	4.0	4.5	4.8	
	15 職員の能力開発のための研修が行われているか。	3.6	3.9	4.4	
16 クラス担任と教科担任との連携を密にし、学生の実態に合った指導法の確立に努めているか。	4.2	4.6	4.6		
IV 学修成果	17 就職率の向上は図られているか。	4.5	4.6	4.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・就職活動は、コロナ禍にありながら一定の成果を上げており、評価できる。今後は医療・福祉分野にとどまらず、スポーツ、観光、交通分野等に就職先の幅を広げるような指導も必要である。</li> <li>・休・退学者対策は、増加原因の分析と共に、有効だった事例の情報を全教員が共有するなど、長期的な対策が必要である。</li> <li>・精神面が脆弱な学生は、早期発見と共に、フォロー体制を整えることが必要である。</li> </ul>
	18 退学率の低減は図られているか。	3.7	4.4	3.8	
	19 卒業生・在校生の社会的な活動を把握し、評価しているか。	3.8	4.2	4.2	
V 学生支援	20 学生相談に関する体制は活用されているか。	4.2	4.5	4.6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍での臨床実習の制約により、働くイメージの低下が危惧され、就職活動に影響するため、本来実習中に学ぶことができた職業観、倫理観等について、OB・OGの協力による講演会等を計画してもよいのではないか。</li> <li>・学生サポートセンターによる学生相談や経済支援が確立されている。</li> <li>・卒業教育に関しては、西桜会とリハ校同窓会の連携をととして構築されることが期待される。</li> <li>・卒業生の卒業教育の支援、研究支援を職能団体と協力して進める必要がある。</li> </ul>
	21 学生の経済的支援体制は整備されているか。	4.1	4.5	4.4	
	22 保護者と適切に連携しているか。	4.4	4.4	5.0	
	23 卒業生への支援体制は整備されているか。	4.0	3.8	4.2	
	24 ロングホームルームなどを効果的に活用し、職業観・勤労観の育成に努めているか。	4.2	4.6	4.6	
	25 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか。	3.4	4.3	4.4	
VI 教育環境	27 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか。	3.1	3.5	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設・設備は継続的点検・補修が行われており、適切に整備されている。</li> <li>・図書室は学生の学習の場として有効活用されており、感染対策を十分に講じたうえで、今後も効果的な活用を期待する。</li> <li>・防災に関しては、EDCの充実により、意識の向上がみられる。今後は、卒業の支援者としての活動も視野に入れて、カリキュラムに取り入れる必要がある。</li> </ul>
	28 図書室利用の活性化が図られているか。	2.5	2.8	4.2	
	29 防災に対する体制は整備されているか。	3.4	4.1	4.2	
VII 学生募集	30 学生の募集は適正に行われているか。	4.0	4.3	4.3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オープンキャンパス、地方での学校訪問による個別面接等、出願者増加に繋がっており、評価できる。</li> <li>・総合型選抜（入試制度）による入学者の入学後の成績や職業適性等の追跡調査があるとよい。</li> </ul>
	31 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか。	3.7	4.4	4.4	
VIII 財務	32 中長期的に学校の財政基盤は安定していると言えるか。	3.3	3.9	4.2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業報告書によれば、学園の財政状況は安定している。0Tの定数確保を期待する。</li> </ul>
	33 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。	2.7	3.5	4.4	
IX 法令等の遵守	34 法令、専門学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。	4.2	4.5	4.8	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法令順守に対する意識は浸透してきており、適切な学校運営がなされている。今後も意識を高め、維持していただきたい。</li> </ul>
	35 個人情報の保護のための対策がとられているか。	3.8	4.3	4.4	
X 社会貢献等	36 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っている	3.6	3.9	4.0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティア活動は、コロナ禍で制約されたが、社会環境の変化の中、地域が求める内容も変化することが考えられ、地域との結び付きが途絶えないよう、可能な努力を期待する。</li> </ul>
	37 学生のボランティア活動を奨励・支援しているか。	4.4	4.5	4.2	